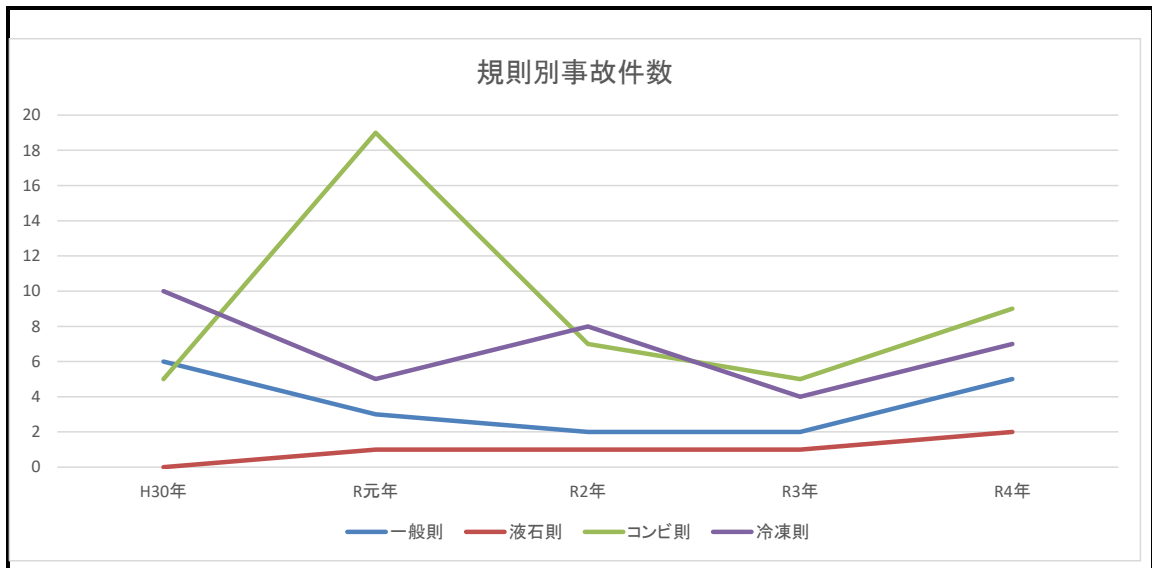
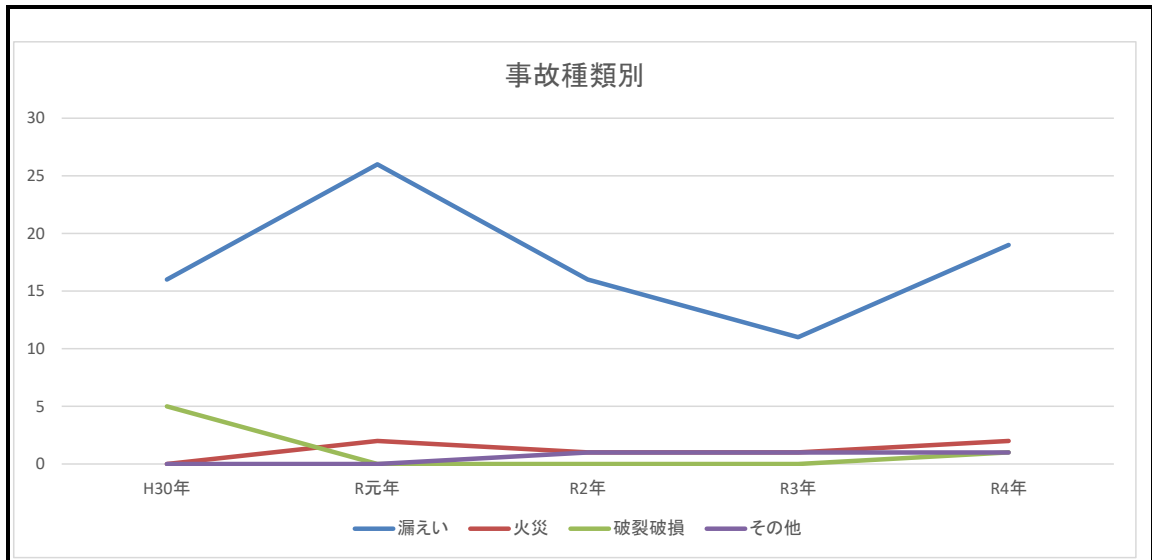


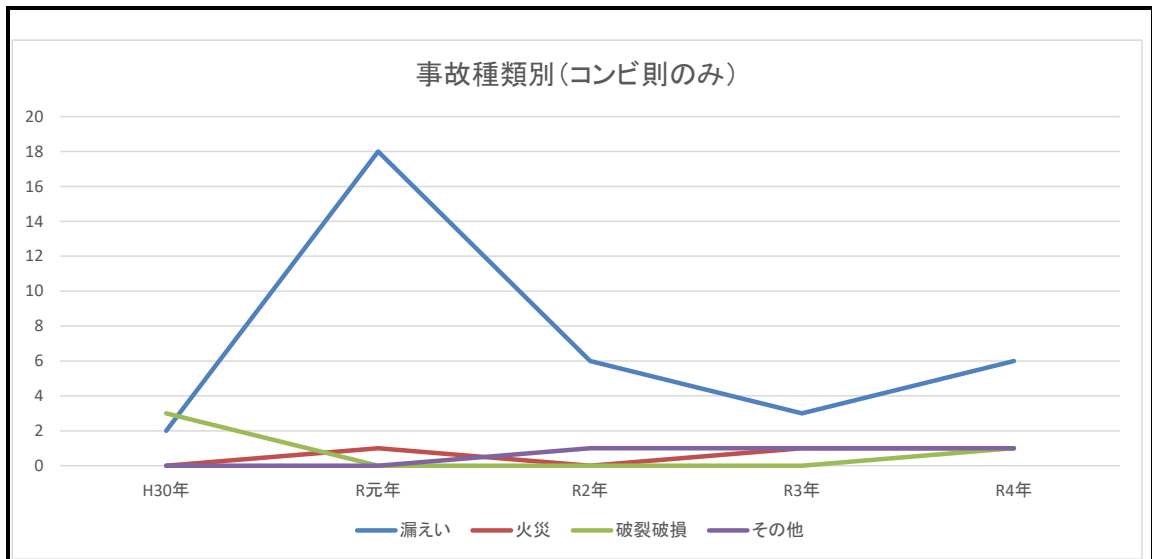
	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年
事故件数	21	28	18	13	23
死者	0	0	1	1	1
負傷者	1	0	2	1	2



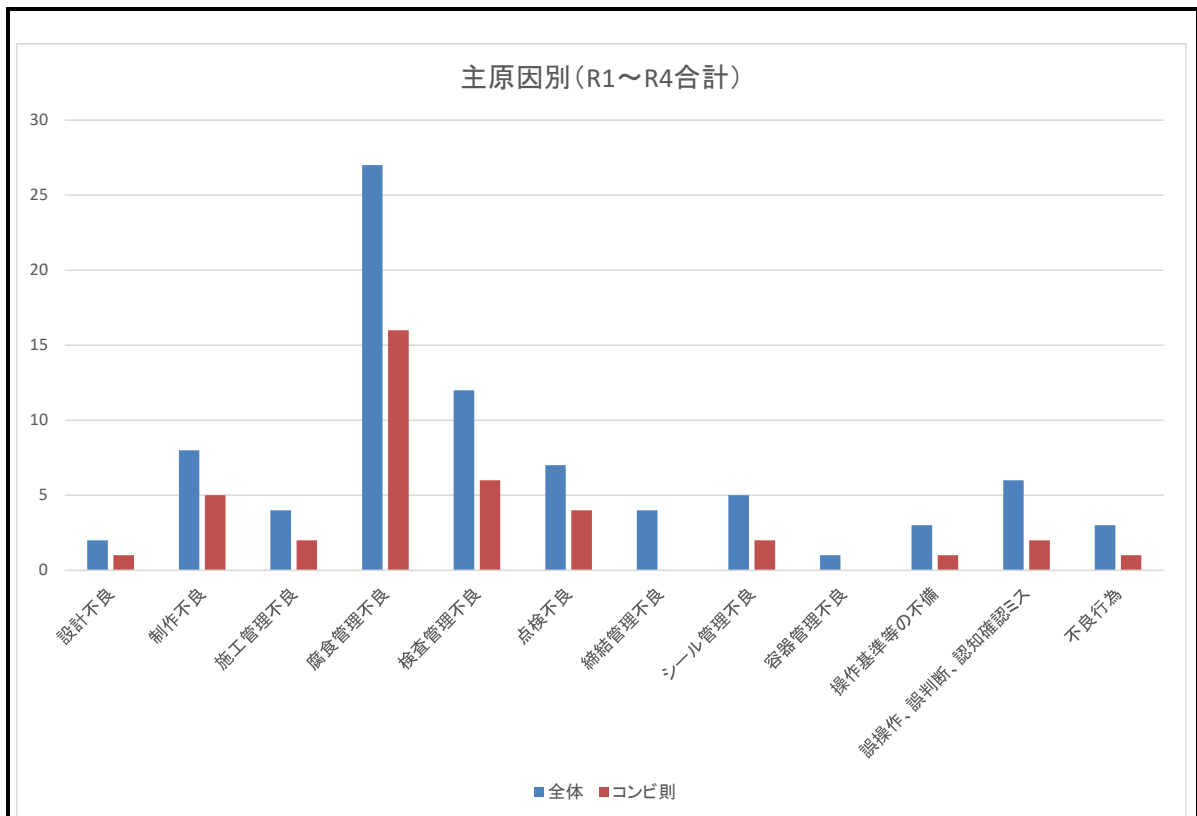
	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年
一般則	6	3	2	2	5
液石則	0	1	1	1	2
コンビ則	5	19	7	5	9
冷凍則	10	5	8	4	7



	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年
漏えい	16	26	16	11	19
火災	0	2	1	1	2
破裂破損	5	0	0	0	1
その他	0	0	1	1	1



	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年
漏えい	2	18	6	3	6
火災	0	1	0	1	1
破裂破損	3	0	0	0	1
その他	0	0	1	1	1



	全体	コンビ則	全体に占めるコンビ則の割合
設計不良	2	1	50%
制作不良	8	5	63%
施工管理不良	4	2	50%
腐食管理不良	27	16	59%
検査管理不良	12	6	50%
点検不良	7	4	57%
締結管理不良	4	0	0%
シール管理不良	5	2	40%
容器管理不良	1	0	0%
操作基準等の不備	3	1	33%
誤操作、誤判断、認知確認ミス	6	2	33%
不良行為	3	1	33%
合計	82	40	49%

令和4年 三重県における高圧ガス事故とコンビ則事故の分析

- ・ 事故件数は年間約20件程度で横ばい、死者、負傷者は各1～2名程度
- ・ 規則別では、コンビ則、冷凍則、一般則の順に多く、液石則は少ない
- ・ 事故種類別では、漏えいが最も多く、全体の9割程度。
- ・ なお、コンビ則では全体に対して火災、破裂破損、その他の割合が高くなる
- ・ 事故種類別の「その他」は全てコンビナートでの労災死亡事故
- ・ 主原因別では「腐食管理」「検査管理」「制作不良」が多い
- ・ コンビ則でも同様の傾向だが、「制作不良」「腐食管理不良」「点検不良」はコンビ則の割合が比較的高い。